

ワークショップのご案内

本大会においても引き続き、認定心理療法士資格をもつ講師陣による5つのワークショップを、オンラインも併用したハイブリッド形式で開催いたします。臨床心理士の資格更新ポイントとしては、ワークショップとプレコンgresへの参加で2ポイント、大会への参加で2ポイントが取得できます。

今後も当学会資格研修委員会では、心理療法の専門資格としての認定心理療法士の位置づけがさらに明確なものとなるよう、種々の研修機会を提供していきたいと考えていますので、この大会のワークショップにも是非奮ってご参加ください。

資格研修委員長 河合 俊雄

1. ワークショップ概要

- ◆日時 2022年6月4日9:30~12:00
- ◆会場 オンライン: AP大阪淀屋橋(大阪府中央区北浜3-2-25)
オンライン: Zoom
- ※開催時期の感染状況等により、開催形態が変更となる場合があります。

◆参加資格: 以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会 (JAP) 会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

参加費

	A 4月20日までに 申込の方	B 4月21日~5月23日までに 申込の方
会員	5,000円	6,000円
非会員	7,000円	8,000円
非会員(大学院生)	6,000円	7,000円

2. ワークショップ・コースのご案内

A 教育現場における「光」と「影」—教師の傷つき、SCの無力感—

講師: 桑原知子(放送大学)

内容: 教育現場では、未来を背負う子どもたちに接し、子どもの「成長」という「光」があふれています。

しかし実際には、教師やスクールカウンセラー(SC)は、さまざまな困難な状況に陥り、その結果、傷つきを感じたり、無力感にさいなまれたりすることが多いように思います。これは、教師もSCも同じように体験する、学校現場における「影」だといえないでしょうか? そこにはどんなことが起こっているのか。そして、そこから私たちはどのようにして立ち上がっていくのか、ともに考えてみたいと思います。

事例募集: 事例を募集します。教育現場で、ご本人が体験された事例であれば、どんなものでもかまいません。長い例でも短い事例でも、ワンポイントの検討希望でもかまいません。

B ユング派の夢分析 =その意義とトレーニングと臨床=

講師: 猪股剛(帝塚山学院大学)

内容: 本ワークショップでは、夢分析の重要性とその臨床について取り上げたい。

1.ユングはなぜ夢分析をその臨床の中心に置いたのか、2.夢とはそもそもその他の事象とどのように違うのか、3.夢に対する臨床的な態度とはどのようなものか、4.夢分析のトレーニングはどのように行われるのか、5.夢分析の心得とは何か。

以上五点について講師から論じ、最後に事例の中で報告された夢について検討していきたい。

事例は講師の自験例を扱う。

C ト라우マとレジリエンス

講師: 豊田園子(豊田分析プラクシス)

内容: 日本でトラウマについて大きな関心が向けられたのは1995年1月の阪神淡路大震災がひとつの契機となっている。震災を目の当たりに体験された中井久夫先生によってジュディス・ハーマンの本が訳出され、PTSDということばも一気に広まった。そこから4半世紀を過ぎ、その間には、さまざまな技法も試みられてはきたが、トラウマの事例が心理療法において一筋縄ではいかないことは、多くの臨床家が体験しているのではないだろうか。

近年では身体性との関りや、人間本来がもつ生命力、その回復力にも目が向けられている。ユング心理学でいえば個人を超

えた域までこころを掘り下げることがおそらく必要だと思われる。

今回は回復力を示した女性の事例を発表していただき、トラウマとレジリエンスということで考えてみたい。

事例提供：佐渡忠洋氏

D アクティブ・イマジネーションとしての「赤の書」入門

講師：吉川眞理（学習院大学）

内容：ユングの没後も長く封印されていた「赤の書」Liber Novus は2009年に出版され、日本では2010年に河合俊雄・田中康裕・猪股剛・高月玲子の4氏により翻訳刊行されたことは、日本のユング心理学徒にとって大恵であった。しかし実際に読み進めてみると、この書をユング心理学の理解にどのようにつなげていけばよいのか戸惑いを感じる人も多かもしれない。本ワークショップでは「赤の書」をユング自身のアクティブ・イマジネーションとしてとらえつつ、ユングの分析心理学体系との関連について解説する。

E 心理療法における内在的理解と「心理学的差異」の概念

講師：田中康裕（京都大学大学院）

内容：心理療法を実践していると、恵まれない生育環境にあっても、内的には豊かな発展可能性を備えたクライアントに出会うことがよくある。これは逆もまた真であり、この点において、心理療法では、外側の何かに還元するのではなく、出来事に常に内側から迫ろうとする内在的理解が重要であると言えるだろう。このワークショップでは、提示された事例の検討を通して、このような内在的理解やそれを可能にする「心理学的差異」の概念について考えたい。

事例提供：事例を募集します。

3. ワークショップの参加申し込み手続き

1. 当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) 及び、右記 QR コードの申込フォームよりお申し込みください。Web 申込が完了しましたら自動返信メールが送信されます。

*申込フォームは、パソコン・スマートフォン対応しております。

参加申込フォーム



2. 自動返信メールの内容をご確認の上、下記口座まで参加費をご納入ください。

【振込先】

<ゆうちょ銀行から振り込まれる場合>

口座：00980-2-195483

加入者名：日本ユング心理学会年次大会

(ホウケイシツカケイジツカケ)

<他金融機関から振り込まれる場合>

銀行名：ゆうちょ銀行 店番：099

預金種目：当座

店名：〇九九店（ぜろきゅうきゅう店）

口座番号：0195483

3. 振り込み期限

A 2022年4月20日までにお申込みの方…2022年4月22日（金）まで

B 2022年4月21日～5月23日にお申込みの方…2022年5月25日（水）まで

4. 秘密保持に関する誓約書の提出

参加申込後に誓約書フォームへの入力画面に自動的に移動します。内容を確認のうえ必要事項にご記入ください。

参加申込時に提出できなかった場合は、自動返信メール内に記載されている URL または右記の QR コードより入力フォームにアクセスし提出をお願いします。

誓約書提出フォーム



5. その他（注意事項等）

* 申込後、参加費の納入と秘密保持に関する誓約書の提出をもって参加予約の完了とみなします。

* outlook・hotmail・msn 宛でのメールがお届けできない事象が発生しております。

登録いただくメールアドレスは、事務局のアドレスの【受信許可登録】を行っていただくか、上記ドメイン以外のアドレスをご使用ください。

* 24時間以内に自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局（office@jajp-jung.info）までご連絡ください。

* 参加費は、必ず参加者ご本人の名義でお手続きください。

* 本ワークショップと同日午後のプレコンgres両方の参加をもって1日の研修と見なし、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規程別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通りポイントが付与されます。参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

*参加証・領収書について

・オンサイト

当日受付時にお渡しします。（領収書はご希望の方のみ）

・オンライン

ご希望の方にのみ研修会終了後にメールにて送付いたします。

（参加証は終了後に参加ログにて出席確認を行いますので、送付までにお時間を頂戴いたします。ご了承ください。）

*プレングレスの内容がご覧になれる大会第一号通信は、当学会ホームページに掲載していますので、非会員・大学院生の方はそちらも併せてご参照ください。

*新型コロナウイルスの感染が確認された場合、保健所等の公的機関から求めに応じて参加者の情報をお伝える場合があります。

4. ワークショップ事例発表

ワークショップにて事例発表を希望される方は、以下の要領で申し込んでください。

1. 発表資格は、ワークショップ参加資格に準じます。
2. 申込フォームから事例発表を募集しているコースを選択し、お申し込みください。
3. 申し込み期限：2022年3月9日（水）
4. ワークショップ事例発表の採否についてのご連絡は、2022年3月下旬頃を予定しています。
5. その他（注意事項等）
 - ・ 事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。
 - ・ 発表は ZOOM を使用し、WEB カメラをオンにした状態でおこなっていただきます。
 - ・ 資料の画面共有などの操作は、原則発表者自身でおこなっていただきます。
 - ・ 発表に使用するパソコン等のデバイスをご持参ください。（Wi-Fi 接続環境をご用意しております。）
 - ・ 発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。接続は、デジタル出力（HDMI）を予定しております。
※mac をご使用の方は、コネクタもご持参ください。
 - ・ オンライン参加者への資料配布は事務局より GoogleDrive にて行います。
（ダウンロード・印刷・コピー&ペースト禁止制限のうえ、インターネット上で閲覧可能）
※レジュメ（Word 等の文字資料）がある場合は、画面共有のみでは画質や画面の大きさ等によって閲覧に支障がありますので、参加者に配布させていただきます。

お問い合わせ：日本ユング心理学会（JAJP）事務局 office@jajp-jung.info